

Hi-Bec Times

2022 autumn winter

Washing Revolution of Japan! 日本にお洗濯革命! 株式会社サンワードのハイ・ベック通信!

Column Special

- グレート・リセット
- 冬の汗もハイベックで撃退しよう
- ダウン・中綿製品の機能性を守る正しいお手入れ
- 注目素材!! エコファー

人類は新型コロナ以前から、天然痘やペスト、インフルエンザなど様々な感染症と戦ってきました。また、その歴史においてパンデミックが発生した時には、人口の減少に伴う労働力の減少や食糧難などの社会的な問題が併発し、その問題を解決するために労働者の地位向上や農奴解放、政交代などの変革が行われてきました。このような変革は、より良い世界のためにこれまでの仕組みを見直し刷新すること、という意味で「グレート・リセット」と呼ばれています。

コロナ禍においては対人機会の減少や働き方の変化、消費スタイルの変化など、社会の在り方や国民の意識が大きく変化しました。そして同時に様々な商品の欠品や値上げ、物流の混乱、経済活動の失速、気候変動などの問題が顕著に表れてきました。この問題を解決するため、労働力の自動化や各分野でのデジタルイノベーション、再生可能エネルギーへの転換など、より良い未来のためのグレート・リセットが必要とされています。

ハイ・ベックもコロナ禍においては物流の停滞や資材メーカーの倒産などにより一時的に商品の欠品が発生し、お客様やお取引先様には大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。この場を借りて深くお詫び申し上げます。

コロナ禍で露見した問題を解決するため、製造に関わる機械装置や包装資材、各種原材料について包括的な見直しを行っております。さらに、今後の商品改良を目的として、大学や研究機関等との産学連携による商品開発を進めてまいります。

将来考え得る様々なリスクを見越し、既存の仕組みや考え方に捉われないことなく、お客様にこれまで以上に満足頂ける商品を目指したグレート・リセットに取り組んでまいります。

グレート・リセット



注目素材!! エコファー

ファーはコートやジャケット、マフラーなど様々な冬物衣類に使用されています。ファーには動物の毛皮を使用したリアルファーと化学繊維から作られるエコファーがあります。2017年頃から、数々のブランドが動物愛護の観点から動物の毛皮を使用しない「ファーフリー」を表明し、エコファーが使用されることが多くなりました。



ユーザー様アンケート

お洗濯が苦手な冬のアイテムは?



	保温性	耐久性	洗濯	紫外線虫
リアルファー	○	△	×	×
エコファー	△	○	○	○

★実はファーアイテムは手軽にお洗濯頂けます。ポイントをおさえて苦手なアイテムもハイベックでうちクリーニングにチャレンジ♪

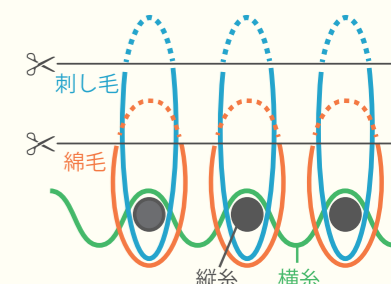
リアルファー

動物の毛皮を使用した天然素材で、フォックスやラビット、ラクーンなどの動物が挙げられます。綿毛という短く柔らかい毛と刺し毛という弾力性のある長い毛から成り、密生した綿毛の間に空気層を作ることによって暖かく保たれます。ですが、お洗濯には不向きで虫やカビ、紫外線の影響も受けやすいです。



エコファー

主にアクリルやポリエステルなどの化学繊維を素材とした起毛生地です。タオルのようにパイル織りでループパイルを作ります。それを長短2種類でカットすることにより、リアルファーの構造同様の綿毛と刺し毛が作り出され、異なる長さを起毛させることによってリアルファーのような毛並みに加工します。染色性が良く、デザイン性に富んだものが多いです。しかし熱に弱いので、高温での乾燥やアイロン等の熱、湿気などに注意してください。



ハイベックのお洗濯なら新品時の風合い長持ち♪



トリプルガードネットを使用することで、衣類(繊維)の動きを抑え、毛の絡まりを防ぎます。



5分間のつけ置き洗いなので衣類への負担も最小限です。押し洗い・揉み洗いは絡まりや抜け毛の原因となります。



乾燥後ブラッシングするとふんわり仕上がります。ナイロン製のブラシは静電気が発生するためハイベックブラシがおすすめ!

発行: 株式会社サンワード

SINCE1981

本社/熊本県熊本市中央区上通町2-30
東京事業所/東京都武蔵村山市榎2-84-5

お問い合わせはフリーダイヤル

ハイ・ベックお客様相談室 0120-668689



©オフィシャルホームページ
<http://www.sunward.co.jp/>

マイベックに
ブログ更新中!

文責は当社に有しておりますので、無断転載はご遠慮ください。尚、ご意見やご感想がございましたら、上記に記載のお客様相談室までお電話でお問い合わせ下さい。

<取扱店>

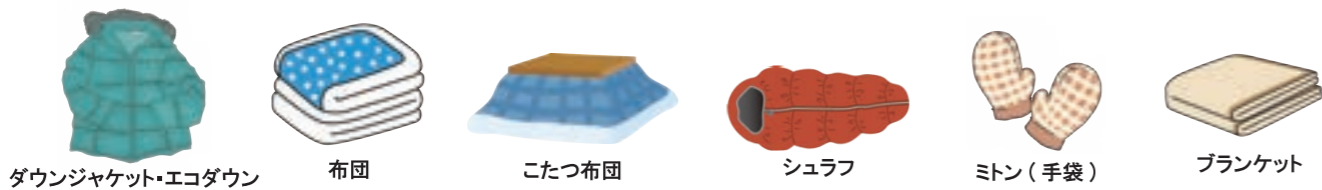
ダウン・中綿製品の機能性を守る正しいお手入れ

寒い季節になると保温性が高いダウンは手放せない衣類の1つです。詰め物に用いられる素材として、主に羽毛・綿の2種類があります。羽毛製品は中綿に比べ、繊維の間に空気を多く含むため温かく、偏りもほぐれやすくなっています。一方、中綿製品は空気を含まない分、繊維の密度が高く、偏りもほぐれにくいいため羽毛よりもやさしいお洗濯がおすすめです。

ダウン・中綿製品の断面図比較



主な製品



羽毛製品のお洗濯

Point 01
あまり着用していない衣類でも、中の羽毛自体が汚れている場合があるので、洗いやすすぎはしっかり行う。生地が化学繊維なら洗濯機洗いもOK!

Point 02
★ダウンが沈みにくい場合は…先に水に洗剤を溶かしておくことで、浸透剤の働きにより沈みやすくなるよ!

Point 03
脱水を1~2分しっかり行うことで、汚れや洗剤をしっかりと取り除き、乾きも早く衛生的です。

Point 03
水に濡れることで羽毛が閉じ、ペラペラになります。そのまま乾かし、完全に乾いた後に羽毛をほぐす。

CHECK

ボリュームが戻りにくい場合は、低温の乾燥機で30分程度回転させることで回復が可能。ドライヤーボール等の併用もおすすめです。

中綿製品のお洗濯

Point 01
洗いや脱水時の摩擦を防ぐため、洗濯ネットに入れて洗いましょう。

Point 02
衣類に洗いムラができないよう、やさしく空気を押し出しながら詰め物全体にもハイベック液を浸透させます。

Point 03
●細かいキルティングの場合 → ボディハンガーに掛けて干します。
●ざっくりとしたキルティングの場合 → お水の重さによる偏りを防ぐために、平らな場所での平干しがおすすめ。

CHECK

特に化学繊維綿は吸湿性が劣り汗汚れが衣類表面に付着しやすくなります。また、静電気が発生しやすくホコリも寄せ付けやすいため、こまめなお手入れを!!

防水・撥水などの機能性は、衣類が完全に乾いた後に市販の防水スプレー等で補うことができます。表面にスプレーをしておくことで汚れの浸透も防ぐことができ、お手入れの手間も軽減できます。正しいお洗濯をこまめに行い、寒い季節を暖かく過ごしましょう!



冬の汗もハイベックで撃退しよう



「冬は汗をかかないから頻りに洗わなくていいわ」

なんて思っている人いませんか？

でも、外が寒いからと厚着して家を出たら、電車の中や室内が暑くて汗をかいてしまうことがありますよね! 夏だけじゃない、冬こそハイベックの出番な理由をお伝えします!

冬の汗はドロツと!

人間には「エクリン汗腺」「アポクリン汗腺」の2種類の汗腺があります。冬の汗は主にアポクリン汗腺から発汗され、汗腺の違いで汗の成分も異なります。

夏の汗と冬の汗の違い

	粘度	雑菌	ニオイ	皮脂汚れ
夏	低い	少ない	臭くない	少ない
冬	高い	多い	臭い	多い

夏の汗 「温熱性発汗」

体温が高くなったときに全身からゆっくり出る自然な汗。汗をかきやすい季節なので汗腺の機能が活発でサラサラとした水に近い汗。

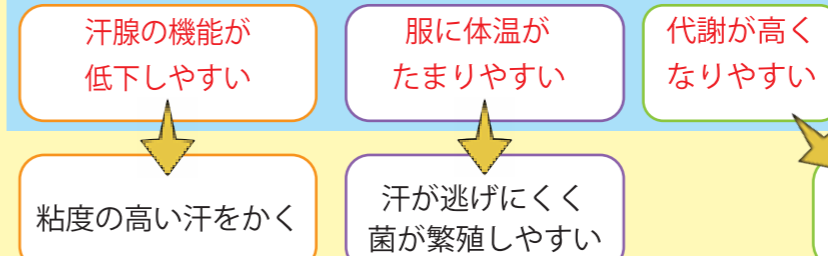
冬の汗 「精神性発汗」

脇などに短時間で大量にじっとりとした汗をかくストレス性の汗。汗をかく機会が少なく、汗腺の機能が衰えているため、ミネラルやアンモニアなどが含まれる成分濃度が高い汗。

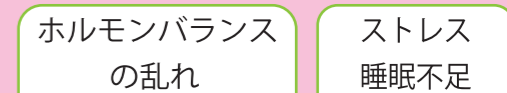


冬に汗をかく理由とは?

★冬特有の現象



★年間を通して



皮脂汚れが多い冬こそハイベック

人は冬に粘度の高い汗をかきます。また、皮脂汚れも夏に比べて多くなります。

そこでハイベックの登場!!

ハイベックなら、水溶性の汚れである汗と油性の汚れである皮脂汚れを落とすことが可能です。しかも、冬服には欠かせないニットやセーター、コートなども着用のたびにお洗濯して頂けます。



洗えるか不安なお洋服がございましたら、お客様相談室へお気軽にお問い合わせください。最適なお洗濯方法をご紹介します。